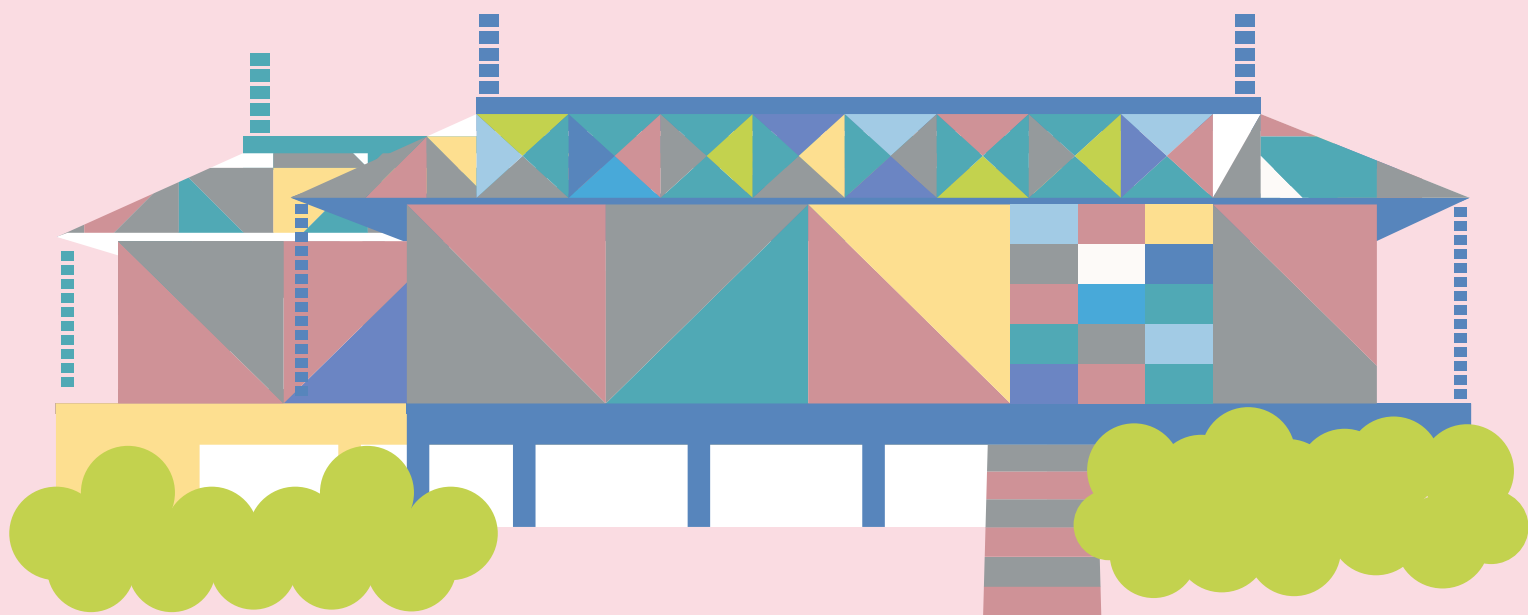
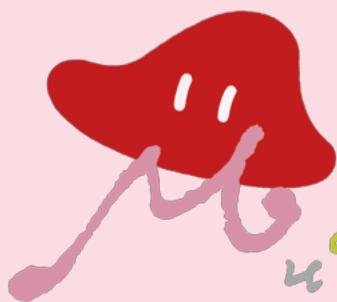


美術館へ

行こう！

スクールプログラム

2024



茨城県近代美術館

多くの子供たちに美術館の楽しさを伝えたいー

「美術館ってどんなところだろう？」

「ちょっと緊張するな……」

「作品の見方って、よく分からないな」

と思っている子供たちや先生たちに美術館で楽しんでもらえる、さまざまなスクールプログラムをご用意しています。

もくじ

1 美術館に行ってできること…………… 1

- (1) 展覧会を楽しむ
- (2) 学校団体鑑賞の方法
- (3) 美術館をもっと楽しむための教育プログラム
 - ①館内「ハロー！ミュージアム」
 - ②対話型アートツアー
 - ③鑑賞アートゲーム「すごろく DE 美術館」
 - ④ワークショップ
 - ⑤簡易模写
- (4) 施設案内
 - ①アートフォーラム
 - ②中村彝アトリエ

2 学校でできること…………… 11

- (1) アートカードの活用
- (2) 複製画の活用
- (3) アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」

3 教員向け講座ー美術館セミナー…………… 19

4 その他の学校向け教育普及活動…………… 20

- (1) 職場体験・インターンシップ
- (2) 高校生特派員制度

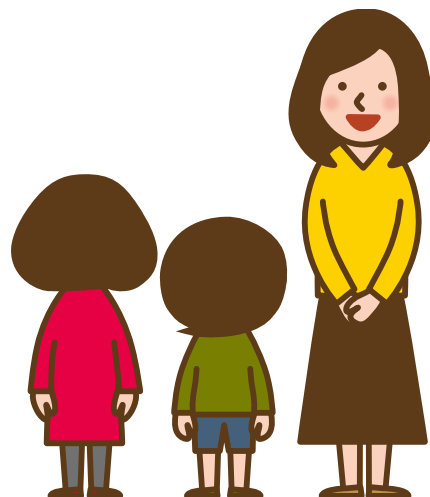
各種申請書……………	21
ワークシート……………	23
館内立体マップ……………	26
茨城県近代美術館について……………	28
ご利用案内・交通案内……………	29



オーギュスト・ルノワール
「マドモワゼル・フランソワ」



佐伯祐三
「コルドヌリ(靴屋)」



1

美術館に行ってできること

(1) 展覧会を楽しむ

● 企画展(2階)

国内外の優れた美術作品を紹介する特別展です。
年間5回程度開催しています。

● 所蔵作品展(1階)

第1室では、日本画の横山大観^{う せん}、小川芋銭^{つね}、洋画の中村彝^{きのうちよし}、彫刻の木内克^{つね}など、郷土の作家を中心とした日本の近代美術と、彼らに影響を与えた西洋美術を季節やテーマごとに作品を入れ替えて展示しています。第2室では、毎回テーマを設定し、多様な作品の魅力を紹介します。年間5回程度展示替えを行っています。

展覧会を楽しむ方法

● まずは会場を1周してみる

最初に展覧会全体をみてまわりながら「気になる作品」を探します。

● 2周目以降、「気になった作品」をじっくりみる

細部までよくみながら、どこが気になったのか考えてみましょう。

作品の楽しみ方



立ち止まって じっとみてみよう

じっとみていると、
いろいろな美しさ、
おもしろさがみえて
きます。



中西利雄「彫刻と女」



近くに寄ったり 遠くでみたりしてみよう

近くからと遠く
からでは作品の
みえ方、印象が
かわります。



クロード・モネ
「ポール＝ドモワの洞窟」



作品のまわりを ぐるぐるまわってみよう

彫刻は正面だけでなく、
横、斜め、といろいろ
な角度からみて気に入
った角度をさがすの
も楽しみの一つです。



中原悌二郎
「若きカフカス」



素材や技法の違いを みてみよう

油彩画、日本画
など表現や素材、
技法の違いに注
目して鑑賞する
のも楽しいです。



横山大観
「山に因む十題
霊峰四趣・其一春」



中村彝
「カルピスの包み紙の
ある静物」

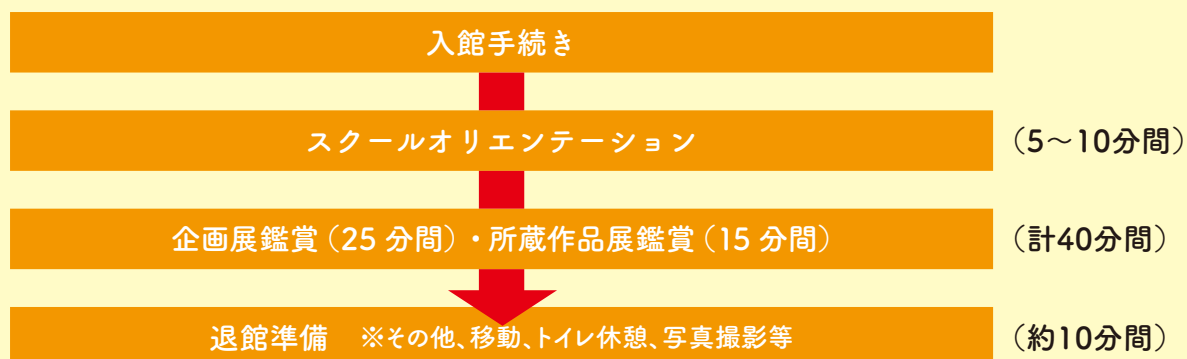
(2) 学校団体鑑賞の方法

- ・下記の「コース例」に記載の時間を目安に、校外学習や部活動など教育活動の目的に応じて計画の上、ご利用ください。
- ・少人数でもお受けします。
- ・土日、祝日や夏休みなどの長期休業日でもご利用可能です。



展覧会鑑賞を中心に
見学したい

① スクールオリエンテーション+展覧会鑑賞の場合(約60分間)



各種教育プログラムを組み
合わせて見学したい

② スクールオリエンテーション+展覧会鑑賞+教育プログラム実施の場合



※教育プログラムは、学校のご要望をもとに、担当職員と打合せの上、実施内容を決定します。

※教育プログラムは人数、内容によりお受けできない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※各種教育プログラムの詳細についてはP 5～9をご参照ください。

申込方法

電話にて申込の後「入館料減免申請書（P.21）」をメールまたは郵便、FAXで送付してください。
入館料減免申請書のご提出により、県内の学校や県外を含む特別支援学校の児童生徒・引率者、ならびに県内の幼稚園等の幼児引率者は**無料**となります。

※各種教育プログラムのお申込は、お電話で1か月前までにお願いします。予約状況を確認し、ご相談した上で、申込完了になります。

※詳細は HP<トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用>をご覧ください。

※教育プログラムは人数、内容によりお受けできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

駐車場

当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場」をご利用ください。

※詳細は HP<アクセス → 周辺駐車場・駐輪場>をご覧ください。

事前準備

下見や打ち合わせにも応じます。当日の団体行動がスムーズにできるよう、下記のことについて事前に確認されることをおすすめします。

- ・ 集合場所、オリエンテーションの場所、バスからの誘導経路、車椅子利用者の乗降場所
- ・ 展覧会内容、鑑賞のポイント、鑑賞マナー

※詳細は HP<トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用 → 事前準備のお願い>に事前指導用の資料や動画を掲載しています。ご活用ください。

写真撮影

集合写真等を撮影したい場合は、その旨をお申し出ください。

荷 物

貴重品は各個人でお持ちください。

人数が多い場合は、講座室や講堂にまとめて置くことができますので、ご相談ください。

少人数の場合は、コインロッカー（100円硬貨専用、硬貨は使用後返却）を使用するか、総合受付に預けてください。

筆記用具

館内で筆記用具、ワークシート等を使う場合は、事前にお知らせください。筆記用具は鉛筆に限ります。展示室内やエントランスロビーでは消しゴムは使えません。

昼 食

芝生広場、講座室（利用人数 50 人程度）で昼食をとることができます。

※イベント等で講座室が利用できない場合がありますので、申込時にご相談ください。

バリアフリー

- ・ 車椅子利用者がいる場合は、あらかじめ電話等でご相談ください。入館しやすい入口等をご案内いたします。
- ・ 車椅子の貸出もいたします。申込時にご相談ください。
- ・ 1階トイレには、車椅子等でも利用しやすいトイレが併設されています。

美術館でのマナー

※HP<トップ → 教育プログラム → 学校団体のご利用 → 事前準備のお願い>に事前指導用の画像や動画を掲載しています。ご活用ください。

美術鑑賞はゆっくりのんびりマイペースが基本です。でも、気をつけてほしいこともあります。それは、作品を大切にすること、他の来館者のことを考えてみるということです。美術館には貴重な作品がたくさん展示されています。作品に負担をかけずに良い状態に保つために展示室の温度や湿度を一定にしたり、照明を暗くしたりしています。作品を大切にし、皆さんがゆっくり見られるように以下の約束を守ってください。

■作品を守るための約束



作品や額縁、ガラスにはさわらない

手の汗や油等が作品につくと、変色やカビの原因になります。立体作品の展示台も同じです。こわれやすい作品もあります。



メモをするときは鉛筆で

ボールペンや水性ペン等のインクがつくと、染みこんで取れません。シャープペンシルも先の金属部分や芯で傷をつけてしまうことがあるかもしれません。



展示室内や作品の近くで飲食をしない

作品に飲食物がついたら大変です。飴やガム等もご遠慮いただいています。
ふたがしっかり閉まる容器（水筒やペットボトル等）の飲み物に限り、決められた場所で飲むことができます。



指定場所以外でカメラやビデオ等で撮影をしない

フラッシュ等の強い光は作品を傷めます。また、著作権保護のために撮影が禁じられている作品が多数あります。



展示室の中で携帯電話は使用できません

呼び出し音や通話は、まわりにいる人の迷惑になります。

他の来館者のことを考えてね。
大きな声で話したり、かけまわったりしないでね。



スクールオリエンテーション

内 容

- ・茨城県近代美術館の概要（施設、所蔵作品等）
- ・展覧会の見どころについて
- ・美術館でのマナー、鑑賞のポイントについて



所要時間

5分～10分程度

場所・人数

地階講座室：50人程度

地階講堂：250人まで

※250人以上の場合には、何回かに分けて行います。

(3) 美術館をもっと楽しむための教育プログラム

①館内「ハロー！ミュージアム」

内 容

当館スタッフが、作品の見方や楽しみ方を伝えるために、映像による作品鑑賞・クイズ・インタビューを行います。
※「ハロー！ミュージアム」の詳しい内容についてはP.16参照。



所要時間

20分～45分程度

場 所

地階講堂

人 数

最大 250人程度

※250人以上の場合には、何回かに分けて行います。

②対話型アートツアー

内 容

5～6人程度のグループごとに当館スタッフが付き、子供たち一人ひとりの発言を引き出す対話を行いながら、所蔵作品を鑑賞します。

「作品をみて感じたことや考えを自由に言葉で表現すること」

「他人の意見を否定せずに受け入れること」

を大切にしています。

「みる・考える・話す・聞く」を繰り返し、それぞれの考えや視点をみんなで共有することにより、作品の見方を広げ、多様な考えを受け入れる力を養うことができます。



所要時間

45 分程度

場 所

1 階所蔵作品展示室、エントランスロビー

人 数

40 人程度（1 グループ 5 ～ 6 人程度） ※40 人以上の場合には、何回かに分けて行います。

参加した子供の声

自分の意見を話し、
友達の意見を聞く活動
が楽しかった。友達の
話を聞くと作品のイメー
ジが広がっていった。

今度は家族で来て
絵について話してみたい。



引率の先生の声

対話を通して思ったことを
表現する活動は、
多くの教科で活用でき、
その力を養えると
感じた。

普段は大人しい児童も
積極的に活動している
姿に驚いた。

鑑賞補助教材「ARTトランク」

当館職員とボランティア、高校生特派員(P.20)が協力して考案、作成した鑑賞補助教材です。所蔵作品展での対話型アートツアーで、当館職員やボランティアが使用します。どの教材を使うかは、当館にお任せください。



アートおみくじ

中にはさまざまな形容詞が書かれたくじが入っています。それをもとに作品に対する印象や感想を話し合います。



巻物ミッション

巻物には“ミッション”が書いてあります。それをもとに作品を探します。



ひらめきサイコロ

視覚や嗅覚などをもとに、作品から受けた印象を話し合います。



アドベンチャー・ファイル

作品をみながら、自分で想像したお話や題名を考えます。



使用した子供の声

サイコロをふって、出た絵を手がかりに作品から感じる匂いや音、触った感じを想像すると、いろいろなことに気がつくことができて楽しかった。

同じお題で絵を探しても、人によって色々な考えがあることに驚いた。



引率の先生の声

サイコロやおみくじといったアイテムを使うことで、子供たちの鑑賞への興味・関心が高まり、グループ全員が参加することができてよかった。

鑑賞をする際の視点がわかり、学校での授業でも使えると思った。

③鑑賞アートゲーム「すごろく DE 美術館」

内 容

当館の「アートカード（※P.11 参照）」と「すごろく遊び」を組み合わせた鑑賞プログラムです。4～5人程度のグループになって活動します。

※滞在時間や発達段階に応じた別のバージョンもあります。



ゲームをとおして、つぎのことをめざします

- ・美術館で過ごす際の緊張の緩和や、展示室での鑑賞の動機付けとなるようにします。
- ・造形的な見方や考え方を働かせながら楽しく鑑賞活動を行えるようにします。
- ・考えを伝え合う活動を中心とすることにより、多様な考えに気づけるようにします。
- ・美術館や美術作品に親しみを感じられるようにします。

所要時間

45分程度

場 所

地階講座室



人 数

40人程度（4～5人のグループ） ※40人以上の場合には、何回かに分けて行います。



すごろくシートイメージ図

参加した子供の声

- ・自分がゲームの中で選んだアートカードの作品を、はやく本物の展示室で見たいと思った。
- ・班の友達と協力しながら「美術館」をつくるところが楽しかった。
- ・テーマから作品を選ぶことで、作品の新たな見方を知ることができた。
- ・作品を表すポーズをとるマスに当たった時に、作品からポーズを考える活動が面白かった。
- ・新しい自分の考えに気づけたり、自分とはちがう友達の意見にたくさん出会うことができたりしてよかった。
- ・たくさんの絵を知ることができた。どの絵もすてきだと思った。また、美術館に来たい。

④ワークショップ

内 容

展覧会鑑賞と組み合わせて、当館スタッフと一緒に簡単なものづくりを行うことができます。
学校の希望を聞き、時間、人数、年齢に合わせた内容を当館がご提案いたします。



所要時間

30分～60分程度

場 所

地階講座室

人 数

40人程度 ※40人以上の場合には、何回かに分けて行います。



ワークショップ例

- オリジナル缶バッジ
・クレヨンメルトアート、ゼンタングル、モダンテクニック等で作った図柄の、世界で一つだけの缶バッジを作ります。
- オリジナルグリーティングカード
・手作りスチレンスタンプや色紙でつくるお花色紙の工作で飾り付けをして来館記念のカードを作成します。
- 季節の工作
・季節にあわせた飾りやおもちゃを作ります。

⑤簡易模写

内 容

作品をじっくりみて、写し取ることで、作者の意図を感じ取り、理解することができます。当館では鉛筆や色鉛筆を使用した簡易模写を体験することができます。

所要時間

45分程度

場 所

1階所蔵作品展示室およびエントランスロビー

人 数

40人程度 ※40人以上の場合には、何回かに分けて行います。

(4)施設案内

各コーナー、イベントの内容、開催期間についての最新の情報は、ホームページ等でご確認ください。

①アートフォーラム

美術に関する解説映像や図書資料、簡単な創作等を自由に楽しめる、無料のスペースです。



展示コーナー

解説パネルや画材などを展示しています。簡単な創作をしたり、絵本を読んだりさまざまな体験ができるコーナーもあります。



映像コーナー（大型スクリーン、パソコン：3台）

パソコンで所蔵作品の情報を検索したり、お絵かきソフトを楽しんだりすることができます。描いた絵が動き出すデジタルアートコーナー、所蔵作品の紹介等を上映する大型モニターもあります。



図書コーナー

図工・美術関係の図書や雑誌を自由に閲覧できます。

②中村^{つね}彝アトリエ

内 容

大正期に活躍した水戸出身の洋画家中村彝（1887-1924）の東京都新宿区下落合にあったアトリエを新築復元したものを見学します。

アトリエでは彝の作品に描かれている小卓や椅子等の遺品を展示しています。



2 学校でできること

(1) アートカードの活用

当館の所蔵作品から選りすぐりの 64 点をはがきサイズのカードにしたものを貸し出します。ゲーム的要素を取り入れ、遊びながら作品に親しみ、作品の細部をよくみる習慣を身に付けられます。美術館での鑑賞の事前指導や教員研修にもおすすめします。



セット内容

アートカード 64 枚(日本画・洋画・彫刻等の作品)、アートカードガイド、アートカード掲載作品解説書、作品一覧、収納バッグ(8セット(一箱)単位で貸し出します。教員用として1セットのみの貸出も可能です。)

貸出期間

1か月以内(研修・授業公開等で、長期貸出希望の場合にはご相談ください)

申込方法

電話にて申込の後、「アートカード借用申請書(P.22)」をメールまたは郵便、FAXで送付してください。

貸出方法

美術館で直接引き渡しまたは宅配(送料は利用者負担)

※詳細は HP<トップ → 教育プログラム → アートカード貸出>をご覧ください。

自分の見方や感じ方を広げる活動の例

●「ペアを見つけるゲーム」

- ➔ 形や色を基に作品の共通点を見つけたり、友だちに伝えたりして楽しむ
- ➔ 視点をもって作品を鑑賞する力、自分が感じたことを言葉で伝える

●「どんな音が聞こえるかな？」

- ➔ 作品の造形的な特徴からイメージをふくらませて、聞こえてくる音を擬音語等で表現する
- ➔ 造形的な特徴を基に、自分なりのイメージをもつ力、根拠をもって言葉で表現する

●「マイ展覧会」

- ➔ たくさんの美術作品(アートカード)を基に、感性を働かせて作品を選び、ミニ展覧会を作り、互いに鑑賞し合う
- ➔ 表現の意図や特徴から、テーマに合った作品を選ぶことができる力、根拠を明確にしながら話し合う



(2)複製画の活用

モネやルノワール、レオナルド・ダ・ヴィンチやエル・グレコ、フェルメールなどの世界の名画の複製画を貸し出します。

図工・美術の授業や、部活動、学校行事等で活用したり、環境美化のために校内に飾ったりするなどさまざまな場面でご利用ください。

※複製画作品一覧（P.13～15を参考にしてください）

貸出期間

4月中旬から3月

貸出点数

5点まで

利用期間

4か月以内（長期貸出希望の場合には、ご相談ください）

申込方法

電話にて申込の後、「複製画借用申請書（P.22）」をメールまたは郵便、FAXでお送りください。

※詳細はHP<トップ → 教育プログラム → 複製画の貸出>をご覧ください。

貸出方法

利用者にご来館いただき、直接引き渡しします。

●複製画を運ぶ車両について

複製画が入る大きさの車両をご用意ください。

●駐車場所について

美術館裏手の搬出入口へ車両を止め、美術館裏口の警備員室に来館の旨を申し出てください。

●作品の選択について

原則として事前の複製画の予約は受け付けていません。貸出当日、在庫から自由を選ぶことはできますが、他の学校に貸出中の場合等、ご希望に添えないことがありますのでご了承ください。ただし、授業等で特定の作品が必要な場合は、ご相談ください。



複製画作品一覧表


 で示している作品は現在貸出をしておりません。

作品番号	作品名	作家名	寸法(外箱)	寸法(額)
			縦×横×幅 (cm)	縦×横×幅 (cm)
1	チューリップ畑	フィンセント・ファン・ゴッホ	85×91×15	65.6×79.2×6
2	ひなげし	クロード・モネ	85×91×15	69.2×82.6×7
3	ジヴェルニー近郊のけし畑	クロード・モネ	80×117×9	75.7×115.2×6.4
4	ヴァランジュヴィルの漁師の家(崖の上の漁師小屋)	クロード・モネ	80×100×7	73.3×95.6×5.7
5	庭のカミュー・モネと子供	クロード・モネ	74×83×8	67.7×78.4×5.7
6	印象・日の出	クロード・モネ	85×92×13.5	72.4×86.4×8.8
7	アンティーヴの古い砦	クロード・モネ	82×97×8	77×93.8×5.5
8	白と紫の睡蓮	クロード・モネ	84×114×9	82.8×113.1×9
9	セーヌ川とルーヴル	カミュー・ピサロ	85×92×14	75.4×86×8
10	美術館前の橋(ボン・デ・ザール)	オーギュスト・ルノワール	81×111×10	77×106.8×8.5
11	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	オーギュスト・ルノワール	73.4×93.5×7	73.5×93.5×5
12	ボール遊びをする子供たち	オーギュスト・ルノワール	85×100×5.5	92.8×80.4×3.7
13	ドミノ遊びをするガブリエルとココ	オーギュスト・ルノワール	69×64×7.5	63.5×57.5×5.7
14	日傘の女と子供	オーギュスト・ルノワール	74×83×8	62.8×71.7×6.2
15	ピアノに寄る娘たち	オーギュスト・ルノワール	69.5×64×7	61×49×4.5
16	ピアノをひく婦人	オーギュスト・ルノワール	104×87×6	101.3×83.3×3
17	モレーの朝	アルフレッド・シスレー	65×72×5.5	62.6×70.1×5
18	卓上のぶどうとくるみ	アルフレッド・シスレー	59×74×9	53.7×70.5×6.2
19	セーヌ河畔の村	アルフレッド・シスレー	71×87×9	65.4×80.5×4.5
20	籠の中の果物	エドゥワール・マネ	56×63.5×9	52.7×60.1×6.1
21	昼食	エドゥワール・マネ	89×110×7.5	85.9×107.3×6.5
22	藁葺き家	フィンセント・ファン・ゴッホ	80×92×10	74.3×86.5×6
23	ジプシーのキャラバン	フィンセント・ファン・ゴッホ	80×92×10	77.1×84.2×7.6
24	ガシエ医師の肖像	フィンセント・ファン・ゴッホ	93×85×14	86.5×76×7.5
25	トロネの道とサント=ヴィクトワール山	ポール・セザンヌ	77×90×7	71.5×84×5
26	池のほとりで憩う人々	ポール・セザンヌ	65×72×7	59.1×67.7×5.5
27	池のほとりで憩う人々	ポール・セザンヌ	65×72×7	59×67.4×5.4
28	読書する二人の少女	オーギュスト・ルノワール	53×62×9	48×58×5
29	静物	ポール・セザンヌ	56×65×6	55.3×62.7×5
30	休息する踊り子	エドガー・ドガ	80×88×5	79.2×85.3×3.5
31	花	オディロン・ルドン	98×87×5	93.3×82.3×3.2
32	銅花器のタチアオイ	ギュスターヴ・クールベ	62×71×6	67.4×56.8×4.1
33	光の帝国	ルネ・マグリット	60×77×5	76.2×58.3×3.7
34	青い睡蓮	クロード・モネ	101×113×14	90.3×90.1×6
35	アルジャントゥィユの橋	クロード・モネ	101×114×14	88.1×106.5×6
36	モントルグイユ街	クロード・モネ	101×114×14	106.5×75.7×6.3
37	セーヌに沈む日、冬の効果	クロード・モネ	103×114×14	79.6×106.5×7.2
38	シヴェルニーの池 庭園と日本風の橋	クロード・モネ	110×110×9	104.5×108.5×7
39	棒きれを持つ少女	カミュー・ピサロ	102×112×9	106.8×90×7.3
40	赤い屋根	カミュー・ピサロ	100×113×15	90.8×106×7.2
41	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	オーギュスト・ルノワール	102×112×15	86×106×6.5
42	アルフォンシーヌ・フルネーズの肖像	オーギュスト・ルノワール	102×112×16	88.9×105.8×6.5
43	都会の踊り	オーギュスト・ルノワール	102×112×17	106.4×66.3×5.1
44	田舎の踊り	オーギュスト・ルノワール	102×112×18	106.4×65.9×4.5
45	ポール=マルリーの洪水	アルフレッド・シスレー	102×112×19	86.4×106.8×7.3
46	セーヴルへの道(マシン通り)、ルーヴシエンヌ	アルフレッド・シスレー	102×112×20	71.3×86.9×8.7
47	モレ・シュル・ロワンの橋	アルフレッド・シスレー	102×112×21	91.1×106.3×7.5
48	バルコニー	エドゥワール・マネ	102×112×22	106.3×83.5×7.8
49	笛吹きの少年	エドゥワール・マネ	111×101×14.5	106×74×7.5
50	馬鈴薯を食べる人々	フィンセント・ファン・ゴッホ	102.5×104.5×14.5	91.6×111.2×7.6
51	オーヴェルの教会	フィンセント・ファン・ゴッホ	111×100×13	106.5×89.6×6.5
52	種まく人	フィンセント・ファン・ゴッホ	103×120×12	95.7×111.4×8.7
53	舞台の踊り子	エドガー・ドガ	85×93×12	87.7×69.4×6.5
54	嵐の海	ギュスターヴ・クールベ	77×97×7	75×94.8×5.5
55	“リンガー・ロンガー・ルー”を歌う イヴェット・ギルベール	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	55×69×5	64.9×50.4×2.8
56	接吻	グスタフ・クリムト	77×78×3	76.1×76.1×2
57	水蛇I(アイ)	グスタフ・クリムト	48×103×3	46.7×100.7×2.2
58	恋文	ヨハネス・フェルメール	53×62×5	49×57.5×4.5
59	黒いマンテラをかぶった エヴァ・ゲールゴー男爵夫人の肖像	マリー・ローランサン	75.5×60×6	72.9×57.8×4.6
60	花と壺	オディロン・ルドン	51×60×5	58×48.9×5.2
61	ゲルニカ	パブロ・ピカソ	60×108×7.5	59×108×6.3

作品番号	作品名	作家名	寸法(外箱)	寸法(額)
			縦×横×幅 (cm)	縦×横×幅 (cm)
62	鏡の前の若い女	バブロ・ピカソ	87×74×6	85×72.5×5.5
63	マドンナ	マルク・シャガール	42×106×3	105×40.5×2
64	モナリザ	レオナルド・ダ・ヴィンチ	95×70×8	92.5×68×7
65	最後の晚餐	レオナルド・ダ・ヴィンチ	58×95×7	56×93.1×6.2
66	受胎告知	エル・グレコ	73×86×9	84.5×69.5×7.8
67	聖ヴィンセント通り	モーリス・ユトリロ	63×91×5	61.4×89.1×5
68	マーメルト市の教会	モーリス・ユトリロ	78×92×9	77.2×89×6.5
69	雪のラバン・アジル	モーリス・ユトリロ	66×85×5	64.2×92.6×6
70	イタリア通り	カミーユ・ピサロ	57×75×3	47.2×62.3×2
71	モンマルトルの教会	モーリス・ユトリロ	54×62×5	52×59.2×5.2
72	グラジョラス	マルク・シャガール	67×77×7	74.8×64×5.8
73	キリスト	マルク・シャガール	42×106×3	104.5×40.5×2.1
74	村の通り	マルク・シャガール	58×54×7	54.8×47×4
75	グランドゥーカの聖母	ラファエロ・サンティ	50×75×7	72.5×47×6.5
76	ばら	ベルナル・ビュッフェ	60×70×5	68.6×56.2×4.1
77	赤い花	ベルナル・ビュッフェ	60×80×6	68×78.5×6
78	タワーブリッジ・ロンドン	ベルナル・ビュッフェ	63×91×5	61×90×4.3
79	カルタ遊びをする人々	ポール・セザンヌ	53×62×5	49×57.5×4.5
80	引き潮のトルーヴィル港の入口	ウージェーヌ・ブーダン	50×56×6	43.5×52×4
81	ヴィル・ダヴレー	カミーユ・コロ	41×59×6	34.7×53.9×4.3
82	森の池	テオドル・ルソー	54×71×6	48.5×67×4
83	ひまわり	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	74×66×10.5	69×57×4.5
84	人物(女性)	アンリ・ルソー	56×75×3	74.3×56.6×2
85	マルセイユ港	ポール・シニャック	83×73×8	68.7×79.1×5
86	ヴァイルマティ	ポール・ゴーガン	102×112×14	89.5×106×8.5
87	黄金色の収穫	ポール・ゴーガン	100×114×14	88.5×106.5×7.5
88	白い馬(女と白い馬)	ポール・ゴーガン	93×111×8	88×106×6.5
89	白い馬	ポール・ゴーガン	85×92×15	65.5×86×7.2
90	首吊りの家	ポール・セザンヌ	84×91.5×13.5	76.5×87×6.5
91	エスタックから見たマルセイユ港	ポール・セザンヌ	100×112×14	91×106×7.5
92	湯わかしと静物	ポール・セザンヌ	103×115×14	90.5×107.5×4.5
93	糸をつむぐ少女	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×15	107.5×90×8
94	晩鐘	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×14	106×93×8
95	落穂拾い	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×14	86.5×106×8.5
96	春	ジャン・フランソワ・ミレー	103×115×14	91.5×109.5×7
97	羊飼いの少女	ジャン・フランソワ・ミレー	100×120×9	95×119.5×7.5
98	馬鈴薯植え	ジャン・フランソワ・ミレー	99×115×8.5	94.5×113.5×5.5
99	青衣のダンサー	エドガー・ドガ	103×115×14	100×92×6.5
100	ダンスのレッスン	エドガー・ドガ	112×100×14	100×91×7.7
101	静物	ポール・ゴーガン	80×92×6	81×91×5.7
102	オスニー村の入口	ポール・ゴーガン	77×90×7	74×86.5×5
103	タヒチの牧歌	ポール・ゴーガン	75×89×8	68.5×83.5×5.2
104	内緒話	オーギュスト・ルノワール	57×70×8	53×65×5.5
105	夜警	レンブラント・ファン・レイン	85×73×8	70.6×82.8×7
106	星降る夜、アルル	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	53×62×5	49×57.5×4.5
107	レカミエ夫人の肖像	ジャック＝ルイ・ダヴィット	70×98×9	67.7×92.4×7
108	サルダナパロスの死	ウージェーヌ・ドラクロワ	74×86×10	69.1×84.7×7.5
109	熱帯林・雄牛と戦う虎	アンリ・ルソー	75×85×8	80.3×69.8×4.5
110	リュクサンブール公園	アンリ・ルソー	80×91×10	75.2×86.3×7.2
111	林の中の池	カミーユ・コロ	86×75×9	80.5×70×5.2
112	テルニ湖	カミーユ・コロ	80×111×10	76.3×106.2×7.6
113	メデューズ号の筏	テオドル・ジェリコー	70×95×9	67.7×92.4×7.4
114	アクロポリス	ポール・デルヴォー	72×100×7	71×99×6
115	静かな港	ピエール・ドートルロー	65×85×6	84.3×64.6×5.2
116	海岸	ピエール・ドートルロー	65×87×6	64.4×84.1×4.8
117	サンタ・マリア・デリ・アンジェリ聖堂	アンリ＝エドモン・クロス	93×79×10	74.5×86.5×7
118	泉	ドミニク・アングル	60×95×9	92.2×55.2×7.5
119	ヴァルパンソンの浴女	ドミニク・アングル	94×69×8	92×67.5×7
120	グランド・オダリスク	ドミニク・アングル	65×95×9	60.4×92×8
121	ヴェニス	ポール・シニャック	103×86×8	84×101.5×8.6
122	展望台のバラ色の少女	フレデリック・バジール	114×104×14	108.5×86×9
123	女王マルガリータの肖像	ディエゴ・ベラスケス	110×95×14	106.3×87.5×8.5
124	道路のそばの沼	テオドル・ルソー	102×114×14	83×110.5×10
125	収穫	シャルル＝フランソワ・ドービニー	103.5×112×14	81×107×8.5

作品 番号	作品名	作家名	寸法(外箱)	寸法(額)
			縦×横×幅 (cm)	縦×横×幅 (cm)
126	食前の祈り	ジャン(=バティスト)シメオン・シャルダン	114×102×14.5	106.5×85×6.7
127	ジプシーの女	フランス・ハルス	113×111×14	106.3×91×6.5
128	ボール=アン=ベッサン 満潮の外港	ジョルジュ=ピエール・スーラ	102×114×14.5	91.4×106.4×8.8
129	鳥の死をいたむ少女	ジャン=バティスト・グルーズ	114×102.5×13.5	106.5×91.5×7
130	セーヌ河とパリのノートルダム	ヨーハン・バルトルト・ヨンキント	103×114×14	89×110.5×9
131	夜のカフェテラス	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	102×114×14	91.3×107.5×5.7
132	トルーヴィルの海水浴場	ウージェーヌ・ブーダン	85×91×15	56.8×84.4×7.2
133	ヴェニスの大運河	ウージェーヌ・ブーダン	85×91×16	66.2×86.5×7.3
134	ハイロードの眺め	メインデルト・ホッペマ	84×114×10	83×113×8.7
135	サン・マルコ広場	カナレット	86×112×10	84.2×109.8×8.8
136	洗礼者ヨハネの説教	ピーテル・ブリューゲル(父)	76×115×10	75×114×10.8
137	洗礼者ヨハネの説教	ピーテル・ブリューゲル(父)	76×115×10	76.2×114.1×7.4
138	アヴォン河のほとり	アルフレッド・パーソンズ	80×110.5×10	76×106.5×8.5
139	ノルマンディ風景	フェリックス・ヴァロトン	73×96×11	68.3×91×7.5
140	シテール島での愛の巡礼	アントワーヌ・ヴァトー	107×143×10.5	102×138.5×9.5
141	天文学者	ヨハネス・フェルメール	58×47.7×7.8	53.8×44.5×7
142	春	サンドロ・ボッティチェッリ	118×167.5×11	117×166.5×11
143	ナポレオンの戴冠式	ジャック=ルイ・ダヴィッド	118×184×9	116.1×181.2×8
144	ラス・メニーナス(女官たち)	ディエゴ・ベラスケス	139.5×125×115	135×120.6×8.6
145	雪中の狩人	ピーテル・ブリューゲル(父)	109×139×9.5	107×137.8×5.3
146	船上の昼食	オーギュスト・ルノワール	64×76×11	61×73×7.5
147	オーヴェルの家	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	64×76×11	61×73×7.5
148	青いターバンの女	ヨハネス・フェルメール	70×60×11	64×57×8
149	レースを編む女	ヨハネス・フェルメール	50×50×7	44×41×5
150	アルルのはね橋	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	80×90×10	73×85×8
151	りんごとオレンジ	ポール・セザンヌ	57×64×10	54×61×7.5
152	ゴッホの寝室	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	57×64×10	54×61×7.5
153	ポーリーヌ・オノの肖像	ジャン・フランソワ・ミレー	76×64×11	73×61×7.5
154	タンギー親爺の肖像	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	67×59×8	64×57×4
155	ポントワーズ・ライ麦畑とマチェランの丘	カミーユ・ピサロ	67×59×8	64×57×4
156	ドビニー嬢	エドガー・ドガ	48×42×7	45×40×3.5
157	グランド・ジャット島	アルフレッド・シスレー	63×53×10	60×51×7
158	ぶらんこ	オーギュスト・ルノワール	86×70×7	84×69×6
159	睡蓮・水の風景	クロード・モネ	63×53×10	60×51×5
160	グレーの橋	浅井 忠	48×57×8	46.5×54.5
161	デルフトの眺望	ヨハネス・フェルメール	67×59×8	65.5×58
162	フラジェの榎の木	ギュスターヴ・クールベ	76×63×10	73×60×7
163	舟遊びをする人々の昼食	オーギュスト・ルノワール	65×78×8	61×73×5
164	糸杉と星の道	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	78×65×9	73×61×5.5
165	アイリス	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	64.5×55.7×9.2	60×52.5×8
166	広場の木立	モーリス・ド・ブラマンク	63×54.3×7.3	60×52.5×6
167	タヒチの女(浜辺にて)	ポール・ゴーギャン	61×74×7	60×72×4
168	井戸端の女と子供	カミーユ・ピサロ	61×52×7	60×50×4
169	クリスパンとスカパン	オノレ・ドーミエ	53×61×7	50×60×4
170	踊り子 ピンクとグリーン	エドガー・ドガ	61×53×7	60×51×4
171	舞台の一遇	エドガー・ドガ	61×52×7	59×51×4
172	踊るジャンヌ・アヴリル	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	95×59×8	91×55×4
173	雪中の狩人	ピーテル・ブリューゲル(父)	105×131×8	99×128×4.5
174	ベネチア(大運河)	ベルナルド・ピュッフェ	105×132.5×8	99×128×4.5
175	パラソルをさす女	クロード・モネ	95×70×8	92×66×7
176	睡蓮の池	クロード・モネ	42×46×7	41×46×4
177	ラ・クロッシュ	佐伯祐三	55.5×64×6	53×61×4
178	アルジャントゥイユのヨットレース	クロード・モネ	70×94×10	68×92×8
179	花咲くアーモンドの枝	フィンセント・ヴァン・ゴッホ	75×63×6	73×61×4
180	青い絵	ワシリー・カンディンスキー	63×63×6	60×60×3
181	パルナッソス山へ	パウル・クレー	46×55×6	43×51×5
182	赤のハーモニー	アンリ・マティス	94×66×5	94×78×12
183	雨・蒸気・スピード・グレート・ウエスタン鉄道	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	94×78×5	53×65×5
184	エマオの晩餐	カラバッツォ	80×68×5	84×70×6
185	牧場の聖母	ラファエロ・サンティ	68×80×5	70×84×6
186	ボール=ドモワの洞窟	クロード・モネ	68×60×8	72×60×7

(3)アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」



当館スタッフが学校や施設を訪問し、映像による作品鑑賞・クイズ・インタビューを組み合わせた鑑賞プログラムを実施します。学校や幼稚園等での文化行事や授業との連携に最適です（オンライン・館内でも実施）。



訪問実施の様子



オンライン実施の様子

上映内容

茨城ゆかりの作家、当館の所蔵作品を紹介する映像番組や対話型鑑賞プログラム
※「ハロー！ミュージアム」映像番組一覧（P.17、18）を参考にしてください。

実施方法

訪問、オンライン（Zoom 等ウェブ会議ツール）

時 間

45 分間程度

※時間の延長、短縮については予約時にご相談ください。

※1日に複数コマの上映も可能です。

申込方法

電話で申込時に日程や内容を調整をします。ご希望の日時をお知らせください（HPで予約状況をご確認できます）。
訪問、オンライン上映の場合には、日程調整後に「ハロー！ミュージアム申込書（P.21）」をメールまたは郵便、FAX でお送りください。

※詳細は HP〈トップ → 教育プログラム → ハロー！ミュージアム〉をご覧ください。

そ の 他

- ・ 訪問上映の場合には、使用機材を美術館が全て持参、準備します。学校の教室程度の広さがあり、暗幕などで暗くすることができ、コンセントがある会場をご用意ください。
- ・ オンラインで実施の場合には、インターネット回線、パソコンやタブレットなどの機器（マイクとカメラ機能付き）、パソコン画面を投影する電子黒板などのモニターをご用意ください。また、実施日までに、30 分程度の接続テスト（音声や画像のチェック等）を行います。



「ハロー！ミュージアム」映像番組一覧

- ・【内容】に(対話型)と記載のあるプログラムは、映像を一時停止して対話を行う時間を含むトータルの時間を記載しています。
 ・【対象】 幼：幼児 小：小学生(低：1～3年 高：4～6年) 中・高：中学生・高校生 成：成人 ○：おすすめ ★：特におすすめ

番号	タイトル	内容	時間	対象			
				幼	小	中	高
1-1	レインボーワンダーランドー 鯉のぼりの世界ー	虹色に描かれた世界をリズムにのって紹介	5分	★	○		
1-2	なんのおと？	音を聞いてどんな作品か考える番組(対話型)	20分	★	低		
1-3	ここからみるとすごいよ	視点や空間の異なる絵の面白さを紹介	5分	○	低		
1-4	わたしのおさんぽー絵をみておはなしつくったのー	女の子が絵の中をお散歩気分で楽しむ番組	5分	○	低		
1-5	川でおいのり	横山大観「流燈」を紹介	5分	○	★		
1-6	海っていいな	クロード・モネ「ポール＝ドモワの洞窟」を紹介	5分	★	★		
1-7	不思議な世界だね	小川芋銭の水辺の生き物たちが登場する作品「水魅戯」を紹介	5分	★	★		
1-8	ボンジュールマドモワゼル！	オーギュスト・ルノワール「マドモワゼル・フランソワ」をこども向けに紹介	5分	★	○		
2-1	友達やなかま	絵の中の人物の表情に注目する番組	5分		○		
2-2	牧場のどうぶつたち	牛や馬など牧場の動物を描いた作品を紹介	5分	○	○		
2-3	ゆかいななかま	鳥や猫たちの楽しい動物の作品を紹介	5分	○	○		
2-4	なにしてるのかな？	絵の中の人物や動物が何をしているのか考える番組	5分		○		
2-5	ここに残った色や形	印象に残ったものや風景を描いた作品を紹介	5分		○	○	
2-6	なににみえるかな？ーたのしい色や形ー	抽象画が何に見えるのか考える番組(対話型)	20分	○	★		
2-7	どうぶつのおともだちーどこにいるのかな？ー	絵の中の生き物や動物を探す番組(対話型)	20分	★	★		
2-8	おおきなみずうみー霞ヶ浦の絵ー	小堀進他、霞ヶ浦のそれぞれの表現を紹介	5分		○	○	○
2-9	鳥やさかなみんなともだちー小林巢居人ー	さまざまな生き物が描かれた日本画を紹介	5分		○	○	○
2-10	かっぱのおはなし	小川芋銭のかっぱの作品を紹介	5分	★	★		
2-11	おひさまいいね	クロード・モネ他、太陽の光の感じをとらえた作品をこども向けに紹介	5分		○	○	
2-12	なんのいろ？	色が印象的な作品4点をこども向けに紹介	5分	★	○		
2-13	おひさまの感じ	クロード・モネ他、太陽の光の感じをとらえた作品を紹介	5分		○	○	○
2-14	月の光・街のあかり	三好節子他、夜・闇をとらえた作品を紹介	5分		○	○	○
3-1	五浦の画家	横山大観他、五浦で活躍した画家の作品を紹介	5分		高	★	★
3-2	茨城県近代美術館の印象派作品	クロード・モネ他、当館所蔵の印象派の作品を紹介	5分		高	★	★
3-3	空・雲、水のある風景	アルフレッド・シスレー他、空と水辺を描いた作品を紹介	5分		高	○	○
3-4	どこから描いているのかな	横山大観他、風景をみる視点の面白さを紹介	5分		○	○	
3-5	白い家	国吉康雄他、白い家が描かれた作品を紹介	5分		○	○	○
3-6	くらしのひとこま	脇田和、くらしの中の風景の面白さを紹介	5分		○	○	○
3-7	描かれている人の気持ち	横山大観他、登場人物の心情が伝わる作品を紹介	5分			○	○
3-8	人物を描く	オーギュスト・ルノワール他、さまざまな人物画を紹介	5分		高	○	○
3-9	みんなのようす	前田青邨他、複数の人物を描いた作品を紹介	5分		高	○	○
3-10	中村彝の世界ー静物・風景ー	「雉子の静物」「大島風景」を含む、中村彝の静物画・風景画4点を紹介	5分		高	○	○
3-11	中村彝の世界ー描かれた人物ー	「男の顔」「裸体」を含む、中村彝の人物画4点を紹介	5分		高	○	○
3-12	やさしいきもちー永瀬義郎の版画ー	こどもをテーマとした、優しい表情の作品を紹介	5分		高	○	★
3-13	クロード・モネ「ポール＝ドモワの洞窟」	海岸の洞窟を描いた作品を詳しく紹介	5分		高	○	○
3-14	横山大観「流燈」	制作のきっかけや、細部について紹介	5分		高	○	○
3-15	オーギュスト・ルノワール「マドモワゼル・フランソワ」	オーギュスト・ルノワール晩年の人物画1点を詳しく紹介	5分		高	○	○

番号	タイトル	内容	時間	対象			
				幼	小	中高	成
4-1	風景との出会いーふと立ち止まればー	当館所蔵の代表的な風景画 10 点を紹介	12 分				○
4-2	五浦への誘い岡倉天心のころ	岡倉天心の生涯と日本美術院の活動を紹介	15 分				○
4-3	茨城の風景	茨城県の風景を描いた作品を紹介	5 分		★	★	★
4-4	日本画で描く茨城の風景	日本画で描かれた茨城県の風景画を紹介	5 分		高	○	○
4-5	緑の中で	浅井忠他、森や草原の緑を描いた作品を紹介	5 分		高	○	○
4-6	海・川・湖	横山大観他、水のある風景を描いた作品を紹介	5 分		高	○	○
4-7	季節のようす	木村武山他、植物が表す季節感のある日本画を紹介	5 分		高	○	○
4-8	天気がつくる美しい風景	横山大観他、霧や雨をとらえた作品を紹介	5 分		高	○	○
4-9	こどもたちのいる風景	風景の中にこどもがいる日本画を紹介	5 分				○
4-10	外国の街や家	佐伯祐三他、日本人の描く外国の町並みや家の作品を紹介	5 分		高	○	○
4-11	机の上の世界	古賀春江他、机の上を描いた作品や静物画を紹介	5 分				○
4-12	静かな時ー菱田春草の日本画ー	菱田春草の描く世界を紹介	5 分				○
4-13	絵になるまでー日本画家浦田正夫ー	「池」の下図を含む、浦田正夫の日本画 5 点を紹介	5 分				○
4-14	中村彝「カルピスの包み紙のある静物」	中村彝の「カルピスの包み紙のある静物」を詳しく紹介	5 分		高	○	○
5-1	雄大な風景ー横山大観ー	気候や自然を描いた横山大観の作品を紹介	5 分		高	○	○
5-2	想いと祈りー横山大観ー	「流燈」を含む、横山大観の人物画を紹介	5 分		高	○	○
5-3	風景との出会いー小川芋銭ー	「海島秋来」を含む、小川芋銭の風景画を紹介	5 分		高	○	○
5-4	沼のほとりでみた夢ー小川芋銭ー	河童や動物たちを描いた小川芋銭の作品を紹介	5 分		高	○	○
5-5	横山大観ー日本の心を描いた画家ー	作品鑑賞の導入として大観の人物紹介	3 分		高	○	○
5-6	中村彝ー絵画にかけた情熱ー	作品鑑賞の導入として彝の人物紹介	3 分		高	○	○
5-7	小川芋銭ー沼のほとりで夢をみたー	作品鑑賞の導入としての芋銭の人物紹介	3 分		高	○	○
6-1	夭折の画家中村彝ーそのアトリエと生涯ー	中村彝の生涯と作品 14 点を紹介	13 分			○	○
6-2	小川芋銭ー風景との対話ー	小川芋銭の生涯と作品 21 点を紹介	14 分			○	○
7-1	版画の魅力	4 種類の版画の表現の違いや特徴を紹介	5 分			○	○
7-2	水彩画の魅力	透明水彩・不透明水彩の表現の違いや特徴を紹介	5 分			○	○
7-3	人物画の魅力	動きのある人物やその表情をとらえた作品を紹介	5 分			○	○
7-4	茨城の作家「水彩画の巨匠」小堀進	「驟雨」「トレド郊外」を含む、潮来市出身の小堀進の作品 4 点を紹介	5 分			○	○
7-5	茨城の作家「虹の作家」鰐喉	「虹」「グッドバイ・ムッシュ・ゴーギャン」を含む、行方市出身の鰐喉の作品 4 点を紹介	5 分			○	○
7-6	茨城の作家「日本画の大家」木村武山	「阿房劫火」「イソップ物語」を含む、笠間市出身の木村武山の作品 4 点を紹介	5 分			○	○
8-1	くらべてみると	油彩画、水彩画、日本画、水墨画の特徴を紹介	10 分		○	★	★
8-2	どんなポーズ？	人物のポーズの真似をして、その動きに着目する番組（対話型）	20 分		★	○	○
8-3	いろいろなかお	水彩画、パステル画など画材による表現の違いを紹介	8 分		★	★	★
8-4	おはなしのつづき	作品の場面の続きを考える番組（対話型）	20 分		○	○	○
8-5	「びょうぶ」ってなに	屏風の見方や楽しみ方を紹介	7 分		★	★	★

3 教員向け講座－美術館セミナー

内 容

美術館の活用や鑑賞方法、美術の技法について教師の知見を広め、知識を深める「美術教育講演会」や「実技講座」を実施しています。

※図画工作科や美術科の研修会としてもご利用いただけます。美術館セミナー担当までお問い合わせください。

開催回数

年に3回程度

対 象

県内の保育園・幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校の教員等

募集方法

当館ホームページまたは、各園や各校へ郵送やメールで送信する募集チラシ等でご確認ください。

※詳細は、[HP<トップ → 教育プログラム → 美術館セミナー>](#)をご覧ください。

令和5年度美術館セミナーの様子



美術教育講演会「立体をつくる・自分をつくる・未来をつくる」
演習「立体をつくる・自分をつくる・未来をつくる」
講師：林耕史（群馬大学共同教育学部教授／国画会会員／彫刻家）



実技講座「板ガラスでつくる～透明なオブジェ」
講師：模野さやか（ガラス造形作家）



実技講座「鉛筆画って面白い！写真を使って描く」
講師：金澤武久（鉛筆画作家）

当館 HP に実施レポートを
掲載しています。



4 その他の学校向け教育普及活動

(1) 職場体験・インターンシップ

日頃なかなか目にすることのない美術館の裏方の仕事や、企画展開催中のお客様へのサービス等、さまざまな体験ができます。

申込方法

電話で申込み、日程や内容を相談した後、学校からの依頼文書を当館が受理して決定となります。



総合受付の体験



図書資料整理

(2) 高校生特派員制度

高校生特派員は、若い世代に芸術文化の魅力を発信し、当館展覧会及び関連イベントのサポートする役目を担います。
※詳細はHP<トップ → 教育プログラム → 高校生特派員>をご覧ください。

申込方法

当館ホームページまたは、各校へ郵送する募集チラシ、ポスターでご確認ください。

任 期

約1年間

特 典

任期中は、企画展及び所蔵作品展が入場無料！

特派員が同校または他校の生徒を伴って来館した場合、同伴者4名までの入館料が団体割引料金となります（特派員の保護者など、大人の同伴も可）。

活動内容

①情報発信

SNS等で展覧会の見どころやイベントなどの情報発信をお願いしています。

②各イベント参加・補助

- ・特派員限定イベント（アートツアーなど）
 - ・高校生特派員美術展覧会（作品展示・作品紹介 LIVE）
 - ・企画展オープニングイベント参加
- ※複数参加可。イベントは変更・追記の可能性あり。

対 象 校

県内の公立・私立高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部



特派員限定イベント（ミュージアムツアー）参加



高校生特派員美術展覧会（会場：水戸オーパ）



企画展オープニングイベント参加

各種申請書

以下の申請書等は当館のホームページからダウンロードすることができます。
必要に応じてダウンロード、印刷をしてご利用ください。

様式第1号(第18条第1項関係)

入館料減免申請書

年 月 日

茨城県近代美術館長 殿

申請者 住 所 _____
電 話 () _____
団 体 名 _____
代表者職氏名 _____
(担当者氏名 _____)

次のとおり入館料の減免を申請します。

観 覧 予 定 日	年	月	日(曜)	時	分
観 覧 予 定 の 展 覧 会 名	常 設 展				
	所 蔵 品 展				
	全 画 展				
観 覧 予 定 の 人 数 内 訳	児童生徒	学 生 等	その他の者	引 率 者 ・ 付 添 人	合 計
	人	人	人	人	人
減 免 の 理 由 (該当数字に○を付ける。)	1 小学校 2 中学校 3 義務教育学校 4 高等学校 5 中等教育学校 6 特別支援学校 7 児童福祉施設 8 老人福祉施設 9 障害者支援施設 10 その他()				
備考 1 学校及び福祉施設での事業として観覧する場合には、申請者が校長又は施設の長であること。 2 個人又はグループで観覧する場合には、それぞれ減免の理由となる身分を証明するものを持参すること。					
近代美術館記入欄(申請者は記入しないこと。)				決 裁	
1 受付年月日 (年 月 日)					
2 認定方法 (①身分証明 ②)					
3 減免認定内容及び実績					
区 分	児童生徒等	学 生 等	その他の者	引 率 者 ・ 付 添 人	合 計
減 免 可 人 数	人	人	人	人	人
減 免 後 の 入 館 料 金 額					円
受 入 金 額					円
実 入 館 者 数	人	人	人	人	人
入 館 料 返 還 金 額					円
実 収 入 金 額					円
備 考					
交 通 手 段					
1 徒歩 2 公共交通機関 3 自家用車 (台)					
4 大型バス (台) 5 中型バス (台) 6 小型バス (台)					
7 マイクロバス (台) 8 その他 ()					

入館料減免申請書

トップ ➡ 教育プログラム ➡ 学校団体のご利用



茨城県近代美術館

ハロー！ミュージアム 申込書

年 月 日

茨城県近代美術館長 行

団体名 _____
代表者職氏名 _____
住所 〒 _____
連絡先 TEL : _____
FAX : _____
メール : _____
担当者氏名 _____

次のとおり申し込みます。 両申込書は併せてお送り下さい。

実施のねらい				
実施場所住所 (上記と異なる場合)	〒 _____			
上映する部屋	(階)			
	座席: 有・無	エレベーター: 有・無	スクリーン: 有・無	
上映日時	年 月 日 ()	年 月 日 ()		
時間内訳	① 時 分 ～ 時 分	① 時 分 ～ 時 分		
	② 時 分 ～ 時 分	② 時 分 ～ 時 分		
	③ 時 分 ～ 時 分	③ 時 分 ～ 時 分		
	④ 時 分 ～ 時 分	④ 時 分 ～ 時 分		
参加学年・年齢				
参加人数				
上映希望番組				

申込先(メールまたはFAX、郵送のいずれか): 茨城県近代美術館「ハロー！ミュージアム」担当
〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保666-1 / TEL: 029(243)5111 / FAX: 029(243)9992
E-mail: hello@modernart.museum.ibk.ed.jp

ハロー！ミュージアム申込書

トップ ➡ 教育プログラム ➡ ハロー！ミュージアム



アートカード借用申請書

令和 年 月 日

茨城県近代美術館長 殿

申請者
施設・団体名 _____

職・氏名（代表） _____

住所 _____

下記のとおりアートカードの借用を申請します。

使用目的と方法										
展示（使用）期間 （1か月貸出）	令和 年 月 日（ ）～令和 年 月 日（ ）									
借用日時	令和 年 月 日（ ） 時 分									
返却日時	令和 年 月 日（ ） 時 分									
管理について	使用期間中のアートカードについて申請者が全責任を負います。									
担当責任者名										
連絡先住所										
TEL	- -			FAX	- -					
借用するカード	8セットを （ ）組	セット名								
	ばらセット （ ）セット	ばら セット名								
備考										

※二重線の欄は受け取りする時に記入してください。
※1か月以上借用したい場合は、相談の上、その月の分の申請書もご提出ください。
※ホームページの「教育・研究」→「アートカードの貸出」→「アートカード借用申請書」のデータファイルがありますので、入力してご提出ください。

アートカード使用報告書

使 用 者	機 関（学校名）： 職・氏名：									
使 用 期 間	令和 年 月 日（ ）～令和 年 月 日（ ）									
使用のねらい	・ ・ ・									
活 動 名										
実施方法（活動の流れ）別添可										
感 想 等：										
使用風景（写真等）※当館ホームページに使用してもよい写真										

複製画とともに使用した参考資料：（ワークシートなどがあれば添付願います。）
※当館のホームページに掲載させていただく場合がございます。その際は、ご連絡いたします。
※ホームページの「教育・研究」→「アートカードの貸出」→「アートカード報告書」のデータファイルがありますので、入力して、ご提出ください。



アートカード借用申請書

トップ ➡ 教育プログラム ➡ アートカードの貸出



アートカード使用報告書

複製画借用申請書

令和 年 月 日

茨城県近代美術館長 殿

申請者
施設・団体名 _____

職・氏名（代表） _____

住 所 _____

下記のとおり複製画の借用を申請します。

借用する複製画	別紙 点（借用の際に点数が決まってから記入でもよい。）									
使用目的と方法										
展示（使用）期間 （4か月貸出）	令和 年 月 日（ ）～令和 年 月 日（ ）									
借 用 日 時	令和 年 月 日（ ） 時 分									
返 却 日 時	令和 年 月 日（ ） 時 分									
管 理 に つ い て	借用期間中の複製画については申請者が全責任を負います。									
担当責任者名										
連絡先住所										
TEL	- -			FAX	- -					
備 考										

※ホームページの「教育・研究」→「複製画の貸出」→「複製画借用申請書」のデータファイルがありますので、入力してご提出ください。

複製画使用報告書

使 用 者	機 関（学校名）： 職・氏名：									
使 用 期 間	令和 年 月 日（ ）～令和 年 月 日（ ）									
使用のねらい	・ ・ ・									
使用した複製画	点 数	点								
	作品名		作 者 名							
活 動 名										
実施方法（活動の流れ）別添可										
感 想 等：										
使用風景（写真等）※当館ホームページに使用してもよい写真										

複製画とともに使用した参考資料：（ワークシートなどがあれば添付願います。）
※当館のホームページに掲載させていただく場合がございます。その際は、ご連絡いたします。
※ホームページの「教育・研究」→「複製画の貸出」→「複製画借用申請書」のデータファイルがありますので、入力してご提出ください。



複製画借用申請書

トップ ➡ 教育プログラム ➡ 複製画の貸出



複製画使用報告書

かんしょう
鑑賞ワークシート①

「よ〜くみてみよう」……私の気になる作品

しめい
氏名（

）

1 「よ〜くみてみたい」と気になる作品を一つ選ぼう

さくひんめい
作品名

2 「よ〜くみて」どこがどのように気になったのかを書こう

3 気がついたこと、感じたことを書こう

- なに えが
・何が描かれているのかな？
- いろ かたち かん
・色や形からどんな感じがするかな？

4 下からテーマを選んで、自分なりに想像したことを書こう

- おと
・どんな音がする？
- にお
・どんな匂いがする？
- さわ かん
・触った感じは？
- おん ど
・どんな温度？
- とうじょうじんぶつ
・登場人物のセリフがあるとしたら？
- つづ あと
・続きがあるとしたらこの後どうなる？
- もし〇〇だとしたら……

5 作品を「よ〜くみてみたら」新しく気がついたこと、または本日の鑑賞でわかったことがあれば書こう

「おすすめします！」ここからみるとこんな感じ
氏名（ ）

右下のイラストは茨城県近代美術館のエントランスロビーにある作品です

1 いろいろな距離や角度から作品をみて、気がついたことや感じたことを書こう

【みたところ】 ・正面 ・横 ・下から
・遠くから ・近くから ・その他

例：○○からみると～に見える ○○からみると～な感じがする



2 自分のおすすめの角度を探そう

おすすめはどの角度かな？

なぜその角度がおすすめなのかな？

3 作品をみて想像しよう

何をしているところかな？

どこからそう思ったのかな？

4 本日の鑑賞でわかったこと、気がついたことを書こう

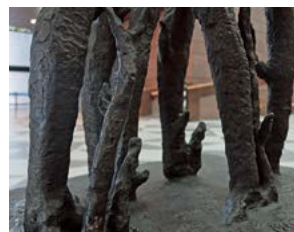
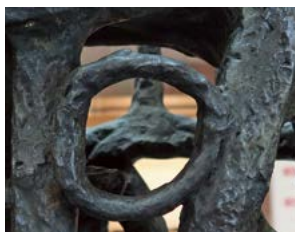
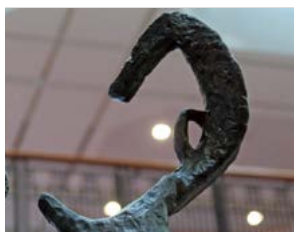
かんしょう
鑑賞ワークシート③

「想像をふくらませよう！」

しめい
氏名（

）

した
下のイラストは茨城県近代美術館のエントランスロビーにある作品です



- 1 上の4枚の写真は作品のどの部分かな？みつけたら上のイラストに印をしてみよう
- 2 作品全体をみて、自分なりに想像をふくらませてみよう

なに
何をしているところかな？

どこで生まれたのかな？

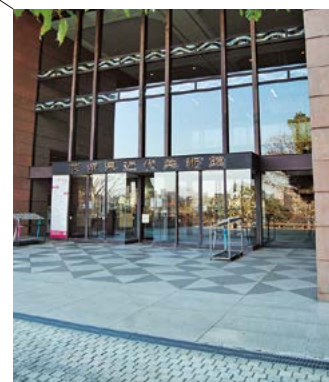
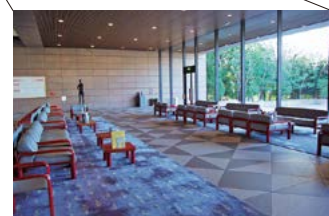
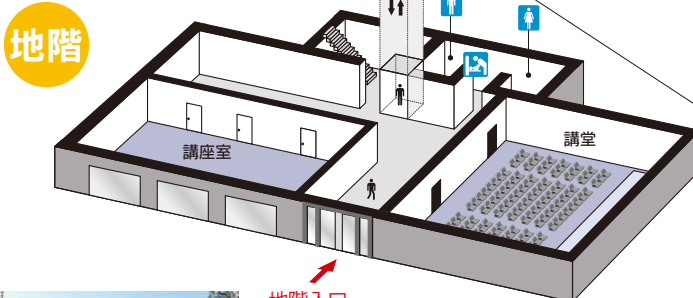
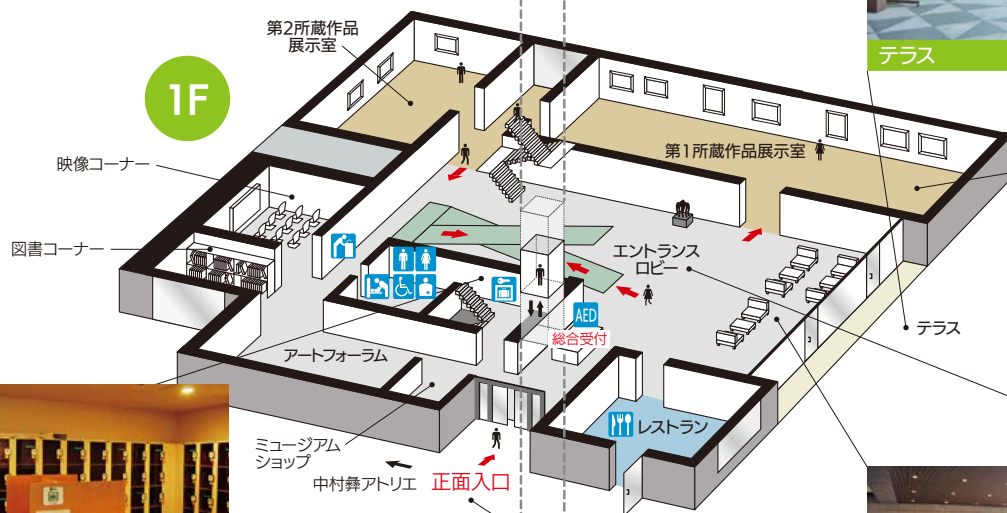
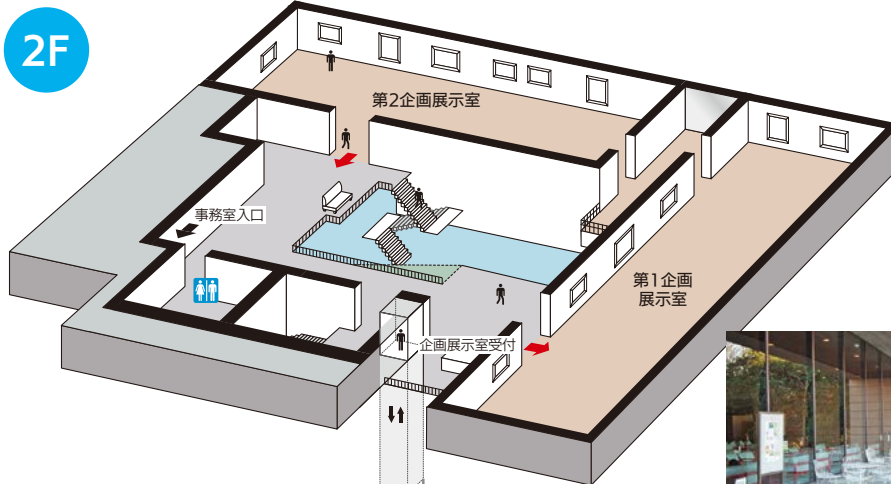
ニックネームをつけるとしたら？

- なぜそう考えたのか、理由を書いてみよう

- 3 こことはちがう場所にあったら……!? どんな場所が似合うかな？上のイラストに風景を描こう
- 4 本日の鑑賞でわかったこと、気がついたことを書こう

館内立体マップ

-  AED
-  男子・女子トイレ
-  身体障害者、オストメイト対応トイレ
-  ベビーベッド
-  コインロッカー
-  水飲み場
-  レストラン



高校生特派員(P.20参照)茨城県立水戸桜ノ牧高等学校美術部が作成した館内イラストマップは、HPからダウンロードすることができます。



2F

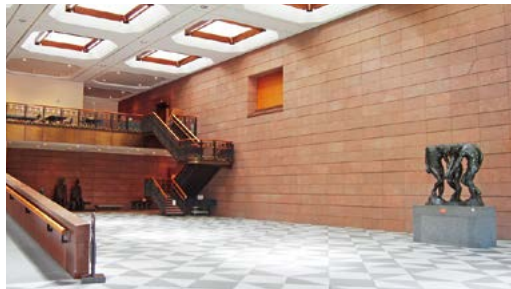
2階の第1・2企画展示室では、国内外の優れた美術作品による企画展を年5回程度開催しています。

1F



所蔵作品展示室

第1所蔵作品展示室では、「日本の近代美術と茨城の作家たち」というテーマで当館の所蔵作品を中心に展示しています。第2所蔵作品展示室では、当館の所蔵品をいろいろなテーマのもと、展示しています。



エントランスロビー

スクールオリエンテーションは、ここでいきます。



アートフォーラム



映像コーナー



展示コーナー



図書コーナー



展示コーナー

アートフォーラムでは、美術に関する解説映像や図書資料などをご覧いただけます。子どもから大人まで自由に楽しめる無料のスペースです。

地階

講堂では、講演会や美術講座、コンサートや館内「ハロー！ミュージアム」を開催します。

講座室では、実技講座や創作活動(ワークショップ)等を行っています。イベント等で使用していなければ昼食のためにご利用いただくこともできます。



講堂

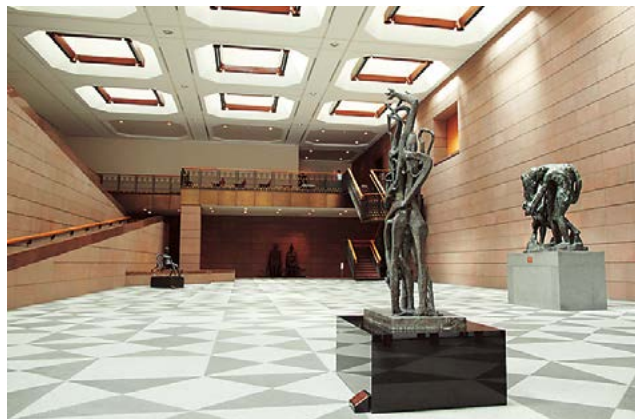


講座室

茨城県近代美術館について



美術館外観



エントランスロビー

茨城県近代美術館は、1988(昭和63)年10月に開館しました。日本三名園の一つである偕楽園から続く千波湖畔にあり、緑青色の銅板葺きの屋根と茶系色の花崗岩の外壁により、周囲の景観に調和した建物となっています。

当館は、近代美術を中心とした約4,000点の作品を所蔵しており、主な所蔵品として、日本画の横山大観、小川芋銭、油彩画の中村彝、彫刻の木内克、水彩画の小堀進など郷土にちなんだ作家の作品をはじめ、モネ、ルノワールといった印象派の巨匠たちの作品もあります。

なお、敷地南側には、大正期に活躍した水戸市出身の中村彝の東京都新宿区下落合にあったアトリエを新築復元し、公開しています。生前の彝が使用していたソファやイーゼル等の遺品の展示し、彝の画業や人物を紹介した映像の上映を行っています。



中村彝アトリエ外観



中村彝アトリエ内



ご利用案内

- 開館時間…………… 午前 9 時 30 分～午後 5 時(入場は午後 4 時 30 分まで)
- 休 館 日…………… 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)及び年末年始(12 月 29 日から 1 月 1 日まで)
※臨時休館日については、HP でご確認ください。
- 入 館 料…………… 次の方々は、入館料減免申請書の提出により、無料です。
 - ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する茨城県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、茨城県外を含む特別支援学校の児童生徒並びに引率者
 - ・教育課程に基づく教育活動の一環として入館する茨城県内幼稚園の幼児の引率者
 - ・保育所(園)、幼保連携型認定子ども園等の園児の引率者

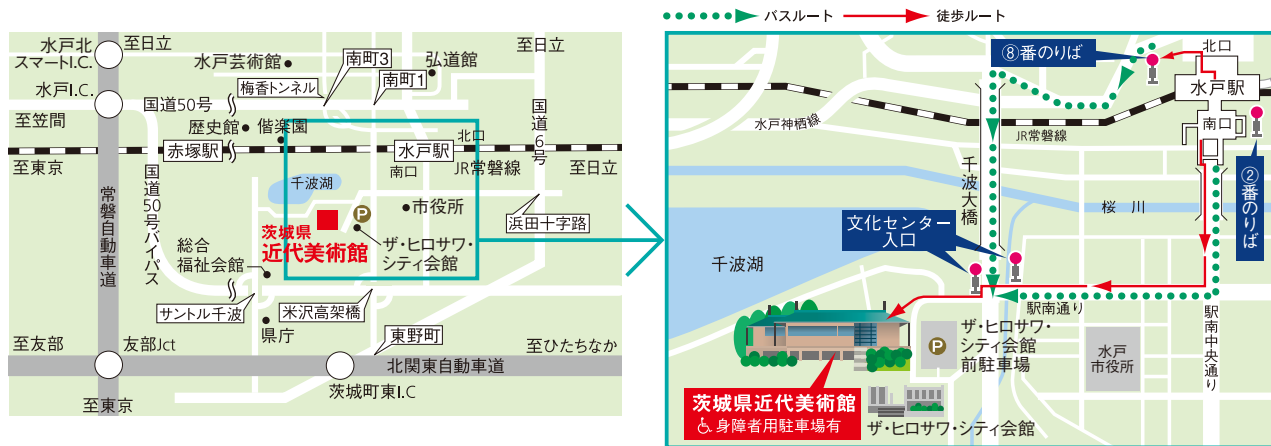
交通のご案内

水戸駅から

- 徒 歩…………… 水戸駅南口から約 20 分
- バ ス…………… 水戸駅北口⑧番または南口②番(平日のみ)のりばからバス乗車約 5 分「文化センター入口」下車
- タクシー…………… 水戸駅南口から約 5 分

学校から車やバスで来館する場合

- 常 磐 自 動 車 道／水戸 IC から約 25 分、水戸北スマート IC から約 20 分
- 北関東自動車道／茨城町東 IC から約 15 分
- 駐 車 場…………… 当館正面の「ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場」をご利用ください。
※詳細は HP〈アクセス→周辺駐車場、駐輪場〉をご覧ください。



茨城県近代美術館

〒310-0851 茨城県水戸市千波町東久保 666-1

TEL.029-243-5111 FAX.029-243-9992

URL <https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>

E-mail info@modernart.museum.ibk.ed.jp (代表アドレス)



当館の普及・広報事業は宝くじの収益金で実施されています。

発行年月日／2024年4月30日